

東京大学=UC Berkeley 戦略的パートナーシップ講演会

「拷問への強い・弱い批判」 Critiques of Torture, Weak and Strong

Ron Hassner/ロン・ハスナー
Department of Political Science, UC Berkeley

2017年11月24日(金) 17:30~19:00
東京大学(本郷)赤門総合研究棟 549室

・言語：英語

テロ対策を目的とした取り調べにおける拷問の適用について、私達は何を知っているのだろうか？もしそれが効果的だとすれば、いつ、どのようにして効くのだろうか？本報告では、米国の拷問実施に関する20世紀から21世紀初頭の事例を検討し、取り調べにおいて拷問が効果的だと考えられる限定された状況においても、その効果は緩慢なものであること、また、拷問は容易にコントロールできなくなり、長期的には負の効果をもち得ることを明らかにする。

Ron Hassner氏について

国際紛争と宗教が専門。特に宗教と紛争との関係に焦点を当てつつ、国際安全保障におけるアイデアや慣習、シンボルの役割を研究している。これまでの著作では、領土紛争、軍隊と宗教、聖地を巡る紛争、現代の戦闘地域における宗教の役割に焦点を当ててきた。教育にも定評があり、UCバークレー及びアメリカ政治学会の教育賞を受賞した。主著に Religion on the Battlefield (Cornell University Press, 2016), Religion in the Military Worldwide (Cambridge, 2013), War on Sacred Grounds (Cornell, 2009)がある。

・研究会は公開ですので、院生・学生の方でご関心のある方も、ぜひご来聴下さい。

連絡先：社会科学研究所 東大=UCバークレー戦略的パートナーシップ担当

todaiberkeley@iss.u-tokyo.ac.jp